



# 施政方針を問う 代表質問



公明党  
堺剛 議員

**問** 渋滞対策をまちづくりを活かそう

**Q** 開発が進み渋滞悪化の懸念や不安が高まっている国分坂本地区の道路改良について3点伺う。

**A** ①すでに調査は実施されているが、市は道路改良の必要性をどう把握しているか。  
②混雑緩和対策を受け、国分坂本地区の都市計画的な面整備の検討に進むのか。  
③今回の工事の効果検証と今後の整備についての説明責任をどう果たしていくか。

議を終え、現在、交差点の処理能力の向上対策を検討中です。今後、自治会や権利者との協議に入り対策の具体化に取り組めます。  
②自転車や徒歩の通勤・通学者も多く、道路の安心・安全性も重要であり、市全体の持続可能なまちづくりも踏まえ地域の在り方を検討していきます。  
③今後の対策、地域課題の解決については、関係者への説明とともにご意見も伺いつつ取り組みます。



録画映像はこちら

**市長** ①国分、坂本地区は駅、小中学校、インターチェンジに近く、宅地化が進みました。両地区からの市道が県道112号線に接続する交差点での渋滞対策は重要と認識しています。測量、対策案の検討、警察との協

## 全質問項目

- ため池の防災対策推進について
- 太宰府小学校長寿命化改良事業について
- 地域公共交通計画の策定について
- 国分坂本地区道路改良について



入江 寿 議員

**問** どんな災害対応トイレトレーラーを導入するのか

**Q** 能登半島地震でも、被災者が最も困っているのはトイレだと聞く。本市も災害対応トイレトレーラーを導入すべきだと私も考えており、3点伺う。

**A** ①災害対応トイレトレーラーの概要は。②年間維持費など、導入後の体制は。③災害派遣トイレネットワークプロジェクトへの参加は。

**市長** ①以前より災害時のトイレ問題については検討を続けており、トイレトレーラーについての視察も行っています。能登半島地震発生を受けてその重要性を再認識したところです。検討中の車両は、個室トイレ4つ、各室に洗面台や換気扇、小窓等を備え、屋根のソーラーパネルにより夜間も利用でき、約1200〜1500回利用可能と考えられています。

## 全質問項目

- 災害対応トイレトレーラーの導入について
- ブロック塀等撤去促進事業について
- 子どもの権利条例の策定について
- 総合交通計画の改訂について



トイレトレーラー



録画映像はこちら



新風  
船越隆之 議員

**問** スケートボードパーク整備の概要は

**Q** スケートボードパーク等の整備について2点伺う。  
①松川体育館一帯の修繕について、どのように行うのか。  
②松川体育館一帯にはイノシシも出没する。スケートボードパークを屋外に設置する場合、鳥獣被害対策の防護柵設置を検討しているのか。

**A** ①子どもたちが安心して練習できる場所について要望があり、太宰府市スポーツ推進計画に松川体育館の計画的な改修を掲げていることから、一帯を有効活用したスケートボードパーク等の整備に取り組みたいと考えています。  
②鳥獣対策については、施設利用が昼間主体と考えるとところであり、開場後の施設利用の実態なども踏



## 全質問項目

- スケートボードパーク等の整備について
- 令和改元5年記念について
- 太宰府館・大宰府展示館・水城館・文化ふれあい館の連携統合について



録画映像はこちら



未来のまち  
馬場 礼子 議員

**問** なぜ施政方針の構成を大きく変えたのか

**Q** 令和6年度の施政方針や予算編成の考え方について2点伺う。

**A** ①令和6年度予算は300億円の大台となった。そこで市長が施政方針の中で最も重要と考える施策とその詳細、令和6年度に向けて市長の理念、思い、熱量は。  
②昨年までは総合戦略に沿っての予算編成だったが、今期はその集大成の年にもかかわらず、大きく構成を変更した。その意図と狙いは。

**市長** ①②最終年度を迎える総合戦略の集大成を念頭に置きつつもより大きな視点から、従来の重点の中でも、危機管理の徹底強化、子どもまんなかの施策展開、市民と交流人口・関係人口の相互発展、新しい公共をテーマとした仕組みづくり、歳出入一体改革の推進と

## 全質問項目

- 冒頭フレーズについて
- 小中学校給食費の助成について
- スケートボードパーク等の整備について
- 地域公共交通計画の策定について
- (仮称)新しい公共座談会の実施について



録画映像はこちら



太宰府市民の声

はせがわ こうせい  
長谷川 公成 議員



録画映像はこちら

問

不登校児童・生徒の対策はこれで充分か

**Q** 不登校児童・生徒支援の推進として、サポートティーチャーを増員、すべての小中学校にサポートルームを設置、スクールソーシャルワーカーを増員して全中学校ブロックに配置するという施策で、不登校児童・生徒の数は減少すると考えているのか。市長の見解を伺う。

が減少するとは断言できませんが、少なくとも本市の子ども達が悩み苦しむ時に、また才能の片りんを感じさせるような機会に、ちよつとしたサポートでもより行えることに繋がればと願っています。

A

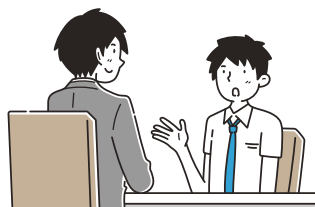
市長 サポートティーチャー

配置によって細かな支援ができると考えています。令和5年12月時点、スクールソーシャルワーカー3名の対応件数が約3000件です。各中学校ブロックに配置する事で、1人当たりの担当が減り、支援が行き渡ると考えます。この取り組みは全国でも少なく、不登校対応の先進的施策とすべく、7000万円を超える予算となります。

今回の対応だけで不登校児童・生徒

全質問項目

- 危機管理の徹底強化について
- 不登校児童生徒支援の推進について
- まほろば号改革について
- 本市教育委員会と総務部における理事、部長職の職務権限について



太宰府市民ネット

とくなが ようすけ  
徳永 洋介 議員



録画映像はこちら

問

全ての児童・生徒に学びの保証を

**Q** 学力向上への取組推進に関して、学力が十分に身についていない児童・生徒にとつて、従来型の講義形式の授業では学ぶことの保証は困難であると考えている。そこで、①テスト改善、②授業改善、③家庭学習改善に向けた本市の取組について伺う。

**A** 市長 本市は「学力向上宣言」を行い、学力育成の取組を進めています。その成果として国が実施する学力調査では小・中学校ともに国や県の平均点を上回っています。

①小学校では、市販のテストを活用し単元ごとの学習の定着を図っています。中学校では、教員が問題を作成して学習内容の定着度をはかる定期考査を実施しています。

②本市独自の教員研修である市内留学や「だぞいふ塾」、全教員授業研修会などを通じて、教員の指導力育成に

取り組んでいます。

③小学校では、従来のドリル学習とともに、本市教育委員会が作成した教材「マスターノート」を活用しています。中学校では、タブレット端末を使って自分の苦手な分野を何度でも学習できる環境を整備しています。

全質問項目

- 災害対応トイレトレーラーの導入について
- 小・中学校給食費の助成について
- 学力向上への取組推進について
- 太宰府小学校長寿命化改良事業について
- まほろば号改革について
- 地域コミュニティの活性化について

